



HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成30年2月16日

受付日：平成29年9月22日  
受付番号：HP17-KT144

## 接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7  
徳栄ビル本館4階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 柳澤恒雄



1. 接合金物名称	オメガコーナー15kNⅡ 床合板仕様												
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1												
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。												
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(隅柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。												
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「オメガコーナー15kNⅡ 床合板仕様」 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼*1 C;0.15%以下,Mn;0.80%以下,P;0.100%以下,S;0.50%以下 寸 法：50mm×50mm×136mm(外形) 板厚t=3.2mm 接合具用孔 9-φ6.6mm 表面処理：Z27</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側：「木ねじ TBA-65」6本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ9.3mm 胴部径φ5.5mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4mm L=65mm 表面処理：エコート*2WH処理</p> <p>横架材側：「木ねじ TBA-120」3本 材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18~0.23%,Mn;0.70~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸 法：頭部径φ10.8mm 胴部径φ5.9mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4mm L=120mm 表面処理：エコート*2WH処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <table border="0"> <tr> <td>柱材：105mm×105mm×600mm</td> <td>スギ 無等級材</td> </tr> <tr> <td>含水率：9.0~12.0%</td> <td>全乾密度：0.42~0.44g/cm<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>横架材：105mm×105mm×450mm</td> <td>スギ 無等級材</td> </tr> <tr> <td>含水率：9.0~12.0%</td> <td>全乾密度：0.41~0.47g/cm<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>床合板：80mm×105mm 厚さ30mm</td> <td>構造用合板 特類 2級</td> </tr> <tr> <td>含水率：10.0~10.5%</td> <td>全乾密度：0.49~0.52g/cm<sup>3</sup></td> </tr> </table> <p>*1 試験ではSGHC(JIS G 3302)を使用した *2 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p>	柱材：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材	含水率：9.0~12.0%	全乾密度：0.42~0.44g/cm <sup>3</sup>	横架材：105mm×105mm×450mm	スギ 無等級材	含水率：9.0~12.0%	全乾密度：0.41~0.47g/cm <sup>3</sup>	床合板：80mm×105mm 厚さ30mm	構造用合板 特類 2級	含水率：10.0~10.5%	全乾密度：0.49~0.52g/cm <sup>3</sup>
柱材：105mm×105mm×600mm	スギ 無等級材												
含水率：9.0~12.0%	全乾密度：0.42~0.44g/cm <sup>3</sup>												
横架材：105mm×105mm×450mm	スギ 無等級材												
含水率：9.0~12.0%	全乾密度：0.41~0.47g/cm <sup>3</sup>												
床合板：80mm×105mm 厚さ30mm	構造用合板 特類 2級												
含水率：10.0~10.5%	全乾密度：0.49~0.52g/cm <sup>3</sup>												
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体の固定：柱芯より横架材木口側に200mmの位置で角座金W9.0×80及びM16ボルト・M16ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) また、加力時に試験体の偏心を防止するためのサポート治具を設けた。												
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>15.2 kN</b> (詳細については接合部性能試験報告書に示す)												
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24												
9. 試験実施日	平成29年10月17日、18日												
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博												

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。